

大分教育事務所訪問 67

大分市立東植田小学校に学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「確かな学力と豊かな心を身につけた、健康でたくましい子どもの育成」を達成するために、めざす子ども像を「考える子」「やさしい子・やりぬく子」「じょうぶな子」として、「学校に来るのが楽しい」「授業がわかった」「運動が楽しい」を重点指標にして取り組んでいます。

特に注目すべきは、目標の達成を単元テスト等の数値の結果だけでなく、授業がわかるのはどんな場面かを協議したり、全国学力調査問題を解いたりすることで、どのような資質・能力が求められるかを分析するなどして、授業改善に活かしていることです。

今後は、協議の中で確認した「自分で考えたり、自分で目標を設定する」等、学校として育成を目指す（教科横断的な）資質・能力【目的】を明確にすることで、それぞれの取組【手段】については、各部会に任せることで、学校経営への当事者意識がより高くなると思いました。

授業から学ぶ

参観した3学級共に道徳の授業でした。4年生では、自分の思いを自分の言葉でワークシートに記入できていたので、後の意見交流がきっと盛んに行われたと思いました。

1年生では、画面（デジ徳）を全員が真剣に見ており、自分の思いをつぶやく子どももいました。

5年生の班で交流する場面では、友達の意見を聴く姿がとても良かったです。また、課題をノートに

書いた時は「書けました！」黙読した際は「読めました！」と堂々と発言し、その後は姿勢を正して静かに待っていました。笑顔あふれる明るい雰囲気の中であって、適度に競争を取り入れることで、メリハリのある授業の作り方を学びました。

同じ結論であっても、考えた理由は全員微妙に異なります。そして、子どもが書いた理由にはその子どもの経験や背景が見えてきます。そのような自己開示ができる素晴らしい授業をみる事ができました。

今後は、指導案にある「ふりかえり」には、子どもがどのような事を書くのか、どんな姿になったら良いのか等、教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」とすることで、「ねらい」との連動や評価規準がより明確になります。そのような、日常的な実践を行うことで授業力がより向上すると思いました。



考える子

教科書や黒板に書かれていることと真剣に向き合う。自分の考えの根拠を持つことで、自信がもてる。



やさしい子

スリッパを揃えるのは、次の人への優しさから。ルールを守るのは相手への優しさから。



やりぬく子

みんなが真剣だから自分も真剣になれる。みんなが笑顔だから笑顔になれる。やる気の学級だから、やりぬける！



じょうぶな子

学び合える友達がいる。視線を合わせて教えてくれる先生がいる。だから、思いっきり自分をだせる。